

千葉晴信君を支援してください

古川中学校昭和 39 年度卒同期会

実行委員長 宍戸孝治

アフリカのエリトリア、ジンバブエで空手の指導に努めていた昭和 43 年度古高卒（第 20 回）の千葉晴信君が今年 3 月、突然の下半身麻痺となってしまいました。現地の医療機関で受けた椎間板ヘルニアの手術の結果が思わしくなく、帰国し 6 月に長野県の佐久総合病院にて再手術を行い、現在長野県立総合リハビリセンターにてリハビリに取り組んでおります。

今後も長期的な支援が必要なことから、できる限りの支援をしたいということで「支援基金」を発足することとなりました。

皆様の心からのご支援をお願い申し上げます。

1. 千葉晴信君のプロフィール

- ・古川市二の構出身（昭和 24 年生 66 歳）
古川第一小学校 古川中学校、（3 年 1 組）
古川高校卒業 昭和 43 年卒第 20 回（3 年 2 組）
- ・鹿児島大学水産学部（空手部所属で全九州学生空手道で個人優勝）
- ・1978 年： 新聞社入社後取材特派員助手としてエチオピアへ入国
- ・1980～1991 年：エチオピアからのエリトリア独立運動の青年兵士に空手を指導
- ・エリトリア独立後ジンバブエにて空手道場を開場



晴信君ご一家（2000 年頃）



空手指導の様子

晴信君は現地で家庭を築き、妻のジェニファーさん亡きあとは 3 人の子供を男手一つで育て上げました。今年末子のリュウシン君のスペイン留学も決まり安心したのもつかの間、思いもよらぬ不幸に遭いご家族の不安も計り知れないものがあると思われます。

現在は鹿児島大学OBの支援で 5 月 22 日帰国し、6 月 4 日佐久総合病院入院、17 日に手術が行われました。30 数年にわたり空手を通じアフリカの青年を指導してきた千葉晴信君を再度アフリカで活躍できる様、できる限りの支援をしたいと思っておりますので皆様の心強いご支援をお願い申し上げます。